

2026年1月19日

機械的補助循環症例の急性期における大腿四頭筋変化と臨床指標との関連

◆研究の目的と概要◆

当院では、機械的補助循環を使用した症例について大腿四頭筋の変化と臨床指標との関連を調べています。本研究では、急性期で大腿四頭筋をエコーで評価することについて臨床的意義の明確化を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2023年9月から、2025年9月までの間に、機械的補助循環装置を挿入してICUにて48時間以上管理された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、診断名、MCS種類、ICU在室日数、MCS管理日数、鎮静剤使用日数、歩行開始日数、在院日数、心臓超音波検査画像（EF）、1日のリハビリ時間、大腿直筋筋厚、中間広筋筋厚、各筋の筋輝度、ICU退出時MRC sumスコア、FSS-ICU、入院前Clinical Frailty Scale、退院時FIM

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026年2月19日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

リハビリテーション部 研究責任者 川上 裕貴

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換ください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明